

---

# 日本BS放送株式会社

2015年8月期 第1四半期

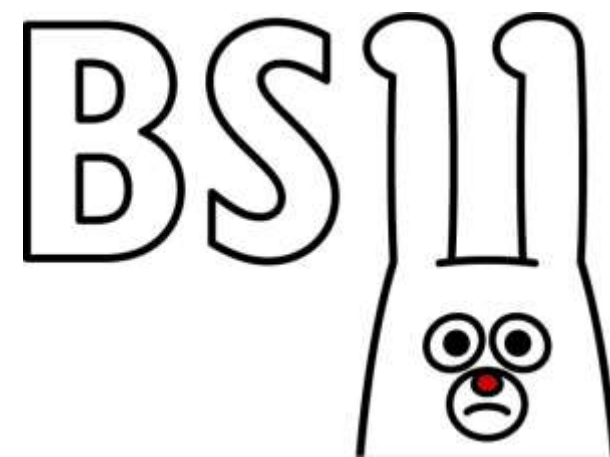
(決算補足説明資料)

2015年1月7日

BS11

(東2 コード 9414)

# I 決算概況



2015年8月期第1四半期 総括

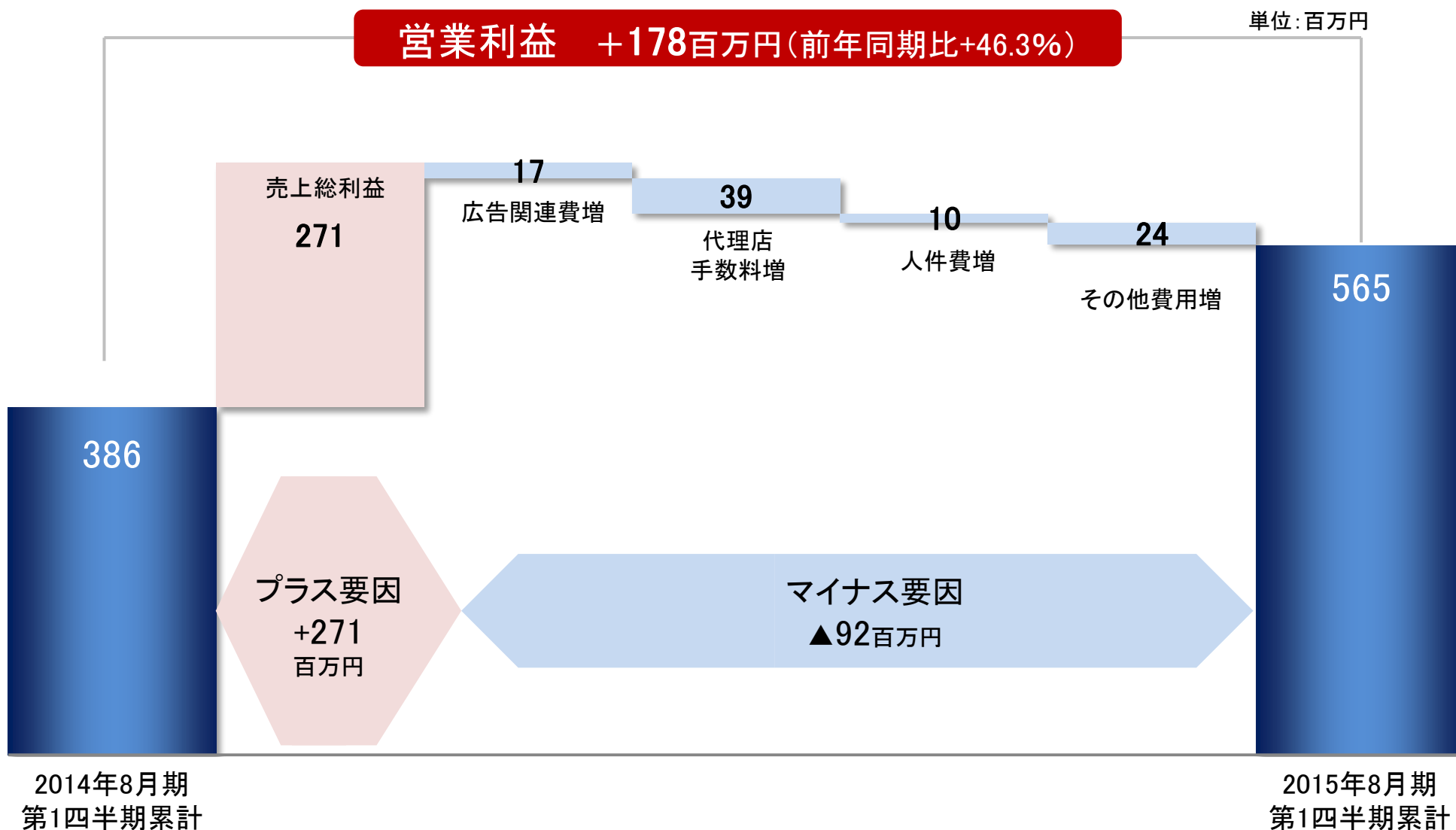
売上高 **2,121百万円** (前期比 15.4%増)

営業利益 **565百万円** (前期比 46.3%増)

- 売上、利益とも計画・前年を上回って推移
- 高品質な自社制作番組の制作による広告枠の付加価値向上
- 局認知度向上を目的とした効率的な広告宣伝の実施
- 好調な業績により繰越欠損金を解消

(単位: 百万円、下段は構成比)

	2014年8月期 第1四半期累計	2015年8月期第1四半期			
			前年同期比	増減額	主な増減要因
売上高	1,837 (100.0%)	2,121 (100.0%)	+15.4%	+283	タイム収入の増加・・・+142百万円 スポット収入の増加・・・+138百万円
売上総利益	878 (47.8%)	1,150 (54.2%)	+30.9%	+271	番組関連費用の増加・・・▲52百万円 放送関連費用の減少・・・+53百万円
営業利益	386 (21.0%)	565 (26.7%)	+46.3%	+178	代理店手数料の増加・・・▲39百万円 広告関連費用の増加・・・▲17百万円 人件費の増加・・・▲10百万円
経常利益	397 (21.7%)	558 (26.3%)	+40.4%	+160	賃貸料収入の減少・・・▲16百万円
四半期純利益	362 (19.7%)	357 (16.9%)	▲1.4%	▲5	繰越欠損金解消に伴う ・法人税等の増加・・・▲39百万円 ・法人税等調整額の取崩し・・・▲126百万円



(単位:百万円、下段は構成比)

	2014年8月期 第1四半期累計	2015年8月期第1四半期累計	
			前年同期比
売上高	1,837 (100.0%)	2,121 (100.0%)	+15.4%
タイム収入	1,401 (76.3%)	1,543 (72.8%)	+10.2%
スポット収入	411 (22.4%)	550 (25.9%)	+33.8%
その他	25 (1.4%)	27 (1.3%)	+8.7%

## 主な増減要因

### ■ タイム収入

- ・通販番組の単価が引き続き上昇したこと、アニメ番組の放送時間枠が増加したことによる収入が増加
- ・インフォメーション(ミニ枠/5分)の販売が好調に推移

### ■ スポット収入

- ・韓国ドラマの根強い人気に支えられ、間に放送する通販スポット販売が引き続き好調に推移
- ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポットも順調に増加

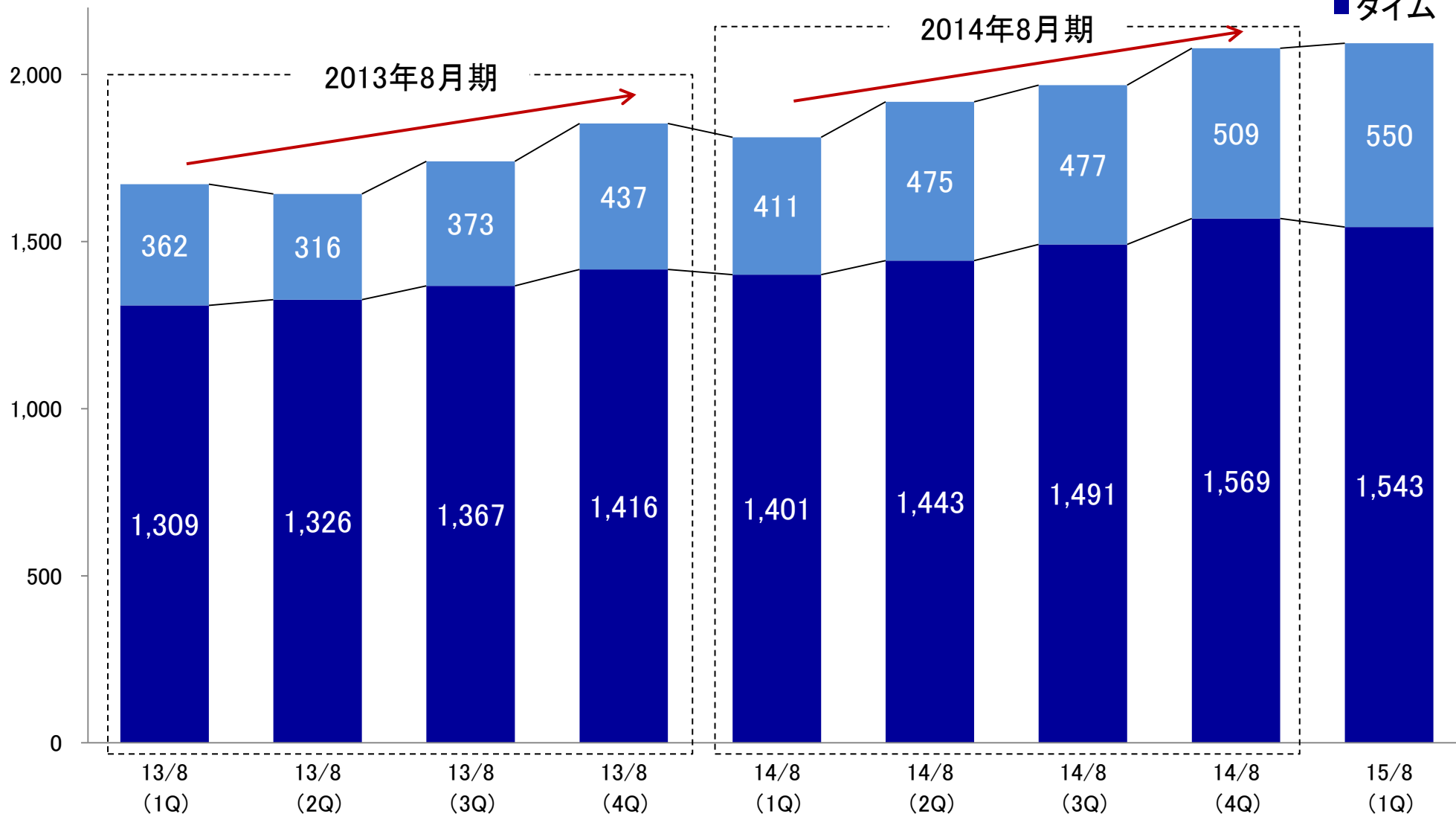
### ■ その他

- ・アニメ制作委員会への出資の伴う配当金収入

◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、期末に向けて増加トレンド

■ スポット  
■ タイム

単位: 百万円



(単位:百万円、下段は売上比)

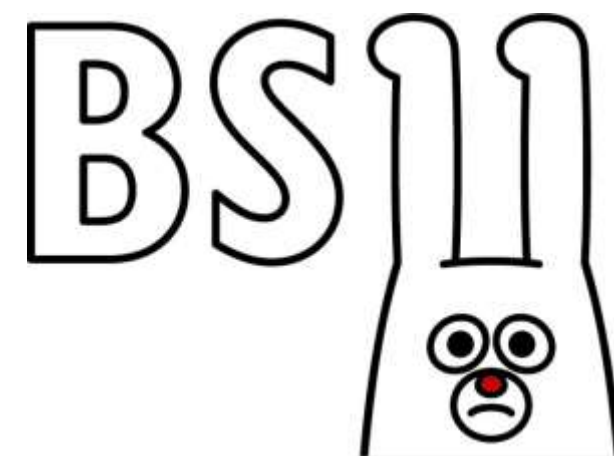
	2014年8月期 第1四半期累計	2015年8月期 第1四半期累計		
			前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	502 (27.4%)	555 (26.2%)	+10.5%	放送番組内容の充実による増加
番組購入費	81 (4.4%)	88 (4.2%)	+9.0%	
番組制作費	421 (23.0%)	467 (22.0%)	+10.8%	
放送関連費用(原価)	210 (11.5%)	156 (7.4%)	▲25.4%	
放送委託費	138 (7.6%)	138 (6.6%)	-	
技術費	71 (3.9%)	17 (0.8%)	▲74.8%	放送設備リース期間終了によるリース料の減少
広告関連費用(販管費)	90 (4.9%)	107 (5.1%)	+19.5%	
広告宣伝費	83 (4.5%)	103 (4.9%)	+24.0%	新番組、機械式接触率調査に向けた広告宣伝活動の強化による増加
販売促進費	7 (0.4%)	4 (0.2%)	▲31.5%	



(単位:百万円、下段は構成比)

		2014年8月期末	2015年8月期第1四半期末		
			前年増減額	主な増減要因	
流動資産		6,556 (49.6%)	6,722 (50.3%)	+165	現金及び預金の増加 +111百万円
	固定資産	6,651 (50.4%)	6,633 (49.7%)	▲17	
資産合計		13,208 (100.0%)	13,356 (100.0%)	+147	
流動負債		1,043 (7.9%)	1,058 (7.9%)	+15	
	固定負債	71 (0.5%)	69 (0.5%)	▲2	
負債合計		1,115 (8.4%)	1,128 (8.4%)	+12	
純資産合計		12,093 (91.6%)	12,228 (91.6%)	+134	利益剰余金の増加 +134百万円 (四半期純利益の計上)
負債・純資産合計		13,208 (100.0%)	13,356 (100.0%)	+147	

## Ⅱ 通期計画



売上高は**8,800**百万円(前期比11.8%増)、営業利益は**1,840**百万円(前期比8.7%増)を計画

当期純利益は**1,100**百万円(2015年8月期に繰越欠損金を解消し税負担が増加)

(単位:百万円、下段は構成比)

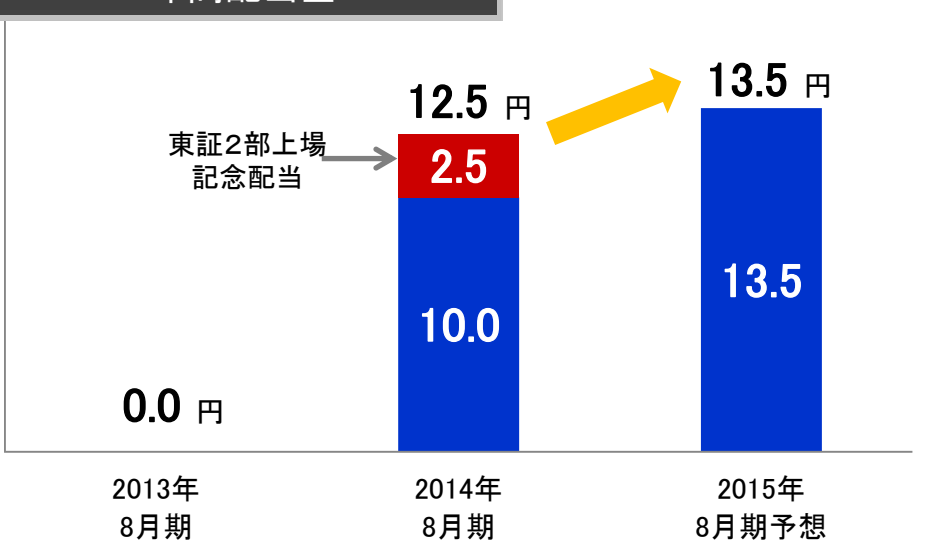
	2014年8月期		2015年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	3,773 (100.0%)	7,869 (100.0%)	4,300 (100.0%)	+13.9%	8,800 (100.0%)	+11.8%	+930
タイム収入	2,844 (75.4%)	5,905 (75.0%)	3,070 (71.4%)	+7.9%	6,376 (72.5%)	+8.0%	+470
スポット収入	886 (23.5%)	1,874 (23.8%)	1,080 (25.1%)	+21.8%	2,200 (25.0%)	+17.4%	+325
その他	42 (1.1%)	90 (1.1%)	150 (3.5%)	+251.3%	224 (2.5%)	+148.0%	+133
営業利益	875 (23.2%)	1,692 (21.5%)	980 (22.8%)	+12.0%	1,840 (20.9%)	+8.7%	+147
経常利益	914 (24.2%)	1,675 (21.3%)	960 (22.3%)	+4.9%	1,800 (20.5%)	+7.4%	+124
当期純利益	767 (20.3%)	1,240 (15.8%)	670 (15.6%)	▲12.7%	1,100 (12.5%)	▲11.3%	▲140

## 期末配当金を1円増配し、13.5円の配当を計画

### 配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した利益配当を継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。
- ・ 配当性向については、当面の目標を**30%**とし、業績を反映した利益還元を実施してまいります。

### 年間配当金



	2013年8月期	2014年8月期	2015年8月期 (予想)
年間配当	0 円	12.5 円	13.5 円
普通配当	0 円	10.0 円	13.5 円
記念配当	0 円	2.5 円	0 円
1株当たり当期純利益	91.87円	77.67 円	61.79 円
配当性向	-	16.1 %	21.8 %

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出。  
 2. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

